

30
Anniversary

th

日本建築構造技術者協会 法人化30周年記念事業

昭和56年に任意団体として設立された構造家懇談会は、平成元年に建設大臣から設立許可を受け、社団法人 日本建築構造技術者協会 (JSCA) として新しいスタートを切りました。

その後、活動の輪を広げ、令和元年の今年7月1日、法人化30周年を迎えました。



一般社団法人
日本建築構造技術者協会
Japan Structural Consultants Association

展示会

『 伝統から最先端 話題の建築を通して見る構造技術と変革 』

建築構造技術は、人々の安全を守り魅力的な空間を実現するために、一人一人の構造技術者の努力と研鑽により、進歩を積み重ねてきました。本展示会では、JSCA会員を中心とする全国の構造技術者の日頃の活動を紹介するとともに、1964年と2020年の東京オリンピックにまつわる建築物、新旧タワーなど各時代の先端構造技術を利用した建築物の模型、原図、映像などを展示いたします。また、それらの設計に携わったJSCAの構造技術者が講演を行います。レガシーと現代を同時に触れることで、建築構造で変化したもの、変わらないもの、その面白さを体感することができます。

変 革 — 建築構造の未来 —

日 時：2019年 11月6日(水) 14:00~20:15
11月7日(木)~8日(金) 9:00~20:15

会 場：建築会館大ホール (東京都港区芝5-26-20)

入 場 料：無 料

展 示 内 容：空間構造の変遷
- 1964年と2020年の東京オリンピック競技場の構造を一堂に展示 -
高さへの挑戦
- 古代の多層建築から現代最高峰のタワー・超高層ビルの技術 -
全国のJSCA会員の作品とJSCA賞
- JSCAの全国の構造技術者とその作品や工夫を紹介 -
建築構造とJSCA
- 構造技術者の視点から見る建築構造の変化の歴史 -

講 演：11月6日(水) 18:00 ~ 20:15 (※130席 先着順)
齋藤 公男 日本大学名誉教授
故 川口衛 法政大学名誉教授
(講演ビデオ上映「構造設計の根幹を考える - 代々木競技場を例として -」) (協力:清水建設(株))
11月7日(木) 18:00 ~ 20:15 (※130席 先着順)
オリンピック施設構造設計担当者による解説

主 催：(一社) 日本建築構造技術者協会

後援(予定)：(公社) 日本建築士会連合会 / (一社) 日本建築士事務所協会連合会 / (公社) 日本建築家協会 / (一社) 建築設備技術者協会
(一社) 日本設備設計事務所協会連合会 / (一財) 日本建築センター / (一財) 日本建築防災協会

共 催：アーキニアリング・デザイン展2019『構造技術が拓く建築と空間』

一般に建築空間をヨコに広げる無柱大空間(集いの建築)とタテに重ねる重層空間(高層建築)を大別した場合、各々に固有な設計テーマがある。その舞台として「空間構造」と「耐震構造」を取り上げ、平成の30年間の軌跡を概観する。また、様々なプロジェクトを通して構造設計のおもしろさと課題、諸世代の構造家とそのデザイン思考、設計プロセスや建築家との協同、オリンピック施設の新しいみかたも紹介したい。

主催：(一社) 日本建築学会

日時：2019年11月6日(水) ~ 13日(水) 9:30~19:00 ※6日(水)13:00 ~ / 9日(土) ~ 20:00 / 13日(水) ~ 16:00

会場：建築博物館ギャラリー (東京都港区芝5-26-20)



新国立競技場
©大成建設・総設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体
※バス等は完成予想イメージであり、実際のものとは異なる場合があります。掲載は完成後、約10年の姿を想定しております。